

令和元年度 市町村職員自主研究グループ支援事業実績一覧

グループ名	市町村名 (人数)	研究テーマ	研究の概要
日向RPA 研究所	日向市 (6人)	AI・RPAの行政サービスへの活用	住民のニーズの多様化や国・県からの権限移譲などにより、業務量は年々増加しており、職員数の減少などの要因も加わり職員一人当たりの業務負担が大きくなっている。また、「働き方改革関連法」により社会の労働環境が変化する中、日向市では、業務量削減と業務効率化を目標として、RPA導入による効果について研究を行う。
新富町 担い手塾	新富町 (5人)	自治会加入率100%を目指して	少子高齢化や人口減少による自治会加入者の減少と高齢化が問題となっており、住民同士のつながりの希薄化など地域コミュニティの崩壊が懸念される。一方で、総合交流センターや商業施設、医療機関の充実により生活環境が整いつつあり、子育て世代の町内への定住や関係人口の増加が期待される中、地域コミュニティの活性化のための自治会加入率100%について調査研究を行う。
西諸合同 調査研究 チーム	小林市 えびの市 高原町 (6人)	高齢者に優しいIT社会の提供	西諸地域では、人口に占める高齢者の割合が高く、今後高齢化が進むことが考えられる。また国は、デジタル手続きやキャッシュレス決済の普及などIT化を推進しており、これからの時代、ITの活用が必須である。しかし、現状では高齢者がITサービスを十分に活用できていない。そこで、「高齢化」と「IT社会」に着目し、高齢者のIT利用について調査を行い、誰もが習熟度に関係なく安心してITを活用できる社会づくりについて研究する。